

科目名	臨床評価学セミナー（理学療法）	担当教員	隈元 庸夫※ 伊藤 俊一※ 信太 雅洋※ 小林 巧※ 山中 正紀※ 小塚 直樹※ 久保田 健太※ 世古 俊明※ 森野 陽※ 佐藤 公博※ 伊藤 俊輔※ 小川 峻一※ 野陳 佳織※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	---

開 講 専 攻	分 野	種 別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31EF	①、②、③					

科 目 概 要	本セミナーでは、「臨床評価学実習」に向け、これまで“理学療法評価学”で学習した臨床上、必要な知識・技術・態度について演習を交えて理解する。知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施する。本科目を通じて、評価の計画、実施、その結果の解釈という一連の流れについて理解を深める。
学 習 目 標	① 実習に必要な態度・姿勢について理解する。 ② 実習領域の評価に関連する知識を復習する。 ③ 実習領域の評価に関連する実技を復習する。 ④ 実習で体験した内容を報告する。

回	項 目	主 な 学 習 内 容	到 達 目 標	実務経験 教員担当 項 目
1	ガイダンス1	臨床評価学実習の概要	臨床評価学実習の概要を理解する。	担当教員 全員
2	ガイダンス2	知り得た情報の管理方法、記録とレポート作成方法	知り得た情報の管理方法を理解する。 実習記録とレポートの作成方法を理解する。	担当教員 全員
3	演習1	実習領域の評価に関連する知識	実習領域の評価に関連する知識を復習する。	担当教員 全員
4	演習2	〃	〃	担当教員 全員
5	演習3	〃	〃	担当教員 全員
6	演習4	〃	〃	担当教員 全員
7	演習5	〃	〃	担当教員 全員
8	演習6	〃	〃	担当教員 全員
9	報告1	実習施設の概要や役割の報告	実習施設の概要や役割および体験内容を報告する。	担当教員 全員
10	報告2	〃	〃	担当教員 全員

11	報告 3	〃	〃	担当教員 全員
12	報告 4	〃	〃	担当教員 全員
13	報告 5	〃	〃	担当教員 全員
14	報告 6	〃	〃	担当教員 全員
15	報告 7	〃	〃	担当教員 全員
評価方法		実技試験（60%）、サマリー発表（40%）		
課題に対するフィードバック		1 実技試験終了後、フィードバックする。 2 サマリー発表を通してフィードバックする。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		特に指定しない。		
学習の準備		臨床評価学実習に向けて、これまで学習した内容をできる限り復習すること（45分）		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験		担当教員の実務経験を基に、臨床評価学実習に向け、知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、評価の計画、実施、その結果の解釈という一連の流れについて実践的な指導をする。		